



平成29年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ワイズテーブルコーポレーション
コード番号 2798 URL <http://www.vstable.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 社長

(氏名) 金山 精三郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員

(氏名) 平尾 健治

TEL 03-5412-0065

四半期報告書提出予定日 平成29年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第3四半期の連結業績(平成28年3月1日～平成28年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第3四半期	11,244	2.1	253	688.7	300	359.7	139	—
28年2月期第3四半期	11,009	4.2	32	△54.3	65	△54.6	△93	—

(注) 包括利益 29年2月期第3四半期 147百万円 (—%) 28年2月期第3四半期 △100百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第3四半期	52.47	—
28年2月期第3四半期	△35.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年2月期第3四半期	5,871	1,373	23.1	509.84
28年2月期	5,129	1,213	23.6	454.50

(参考) 自己資本 29年2月期第3四半期 1,356百万円 28年2月期 1,209百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年2月期	—	0.00	—		
29年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年2月期の連結業績予想(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,606	4.0	553	183.5	582	145.7	327	186.8	123.09

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年2月期3Q	2,660,900 株	28年2月期	2,660,900 株
② 期末自己株式数	29年2月期3Q	145 株	28年2月期	112 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年2月期3Q	2,660,769 株	28年2月期3Q	2,660,831 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の見通しは、当社が現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善ペースの鈍化の影響もあり停滞感に包まれました。国内の個人消費については、熊本地震の影響等もあり、依然として低迷が続いております。また、消費税増税の再延期、英国のEU離脱問題等の世界経済の不確実性の影響により、今後の景気動向については不透明な状況です。

外食産業においては、食材価格の高騰、人材確保の競争激化、また、食の安全・安心に対する社会的関心の高まりに加え、消費者の節約志向の影響から、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、既存店のブラッシュアップに加えて、新規出店を推進してまいりました。当第3四半期連結累計期間におきましては、引き続きカジュアルレストラングループが安定的な収益をあげたことに加え、XEXグループが回復基調であったことから、売上高は11,244百万円（前年同期比2.1%増加）、営業利益は253百万円（同688.7%増加）、経常利益は300百万円（同359.7%増加）となりました。なお、減損損失73百万円、法人税等調整額△83百万円の計上等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は139百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失93百万円）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次の通りです。

①XEXグループ

「XEX」をはじめとする高級レストラン事業であるXEXグループについては、平成27年11月に直営店「The Kitchen Salvatore Cuomo SHANGHAI」を閉店したことにより同店舗の売上が剥落した一方で、前連結会計年度より取り組んでまいりました既存店舗のブラッシュアップ・営業強化の効果もあり、前年同期比で増益となりました。また、直営店「Curtain Call」を平成28年5月に閉店いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の同グループの売上高は3,421百万円（前年同期比3.8%減少）、営業利益は233百万円（同544.6%増加）となりました。なお、店舗数は直営店9店舗となりました。

②カジュアルレストラングループ

カジュアルレストラングループについては、既存店の強化に加えて、直営店およびFC店による新規店舗の出店を推進してまいりました。直営店では、平成28年6月に「SKY PARADISE BEER GARDEN」を伊勢丹新宿本店館屋上に期間限定で営業し、同年7月に「SALVATORE CUOMO & BAR 仙台」を出店いたしました。FC店では、平成28年3月に

「SALVATORE CUOMO & BAR 松山」および「SALVATORE CUOMO & BAR 小倉」、同年4月に「SALVATORE CUOMO & BAR 姫路」、同年6月に「SALVATORE CUOMO & BAR MANILA」、同年7月に「SALVATORE CUOMO & BAR 浜松」を出店いたしました。また平成28年3月には、FC店「PIZZA SALVATORE CUOMO 三軒茶屋」を直営店舗化いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の同グループの売上高は7,817百万円（前年同期比5.0%増加）、営業利益は819百万円（同3.3%増加）となりました。また、店舗数は直営店45店舗、FC店47店舗となりました。

③その他

その他は、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等により構成されております。当第3四半期連結累計期間の同グループの売上高は5百万円（前年同期比3.8%減少）、営業利益は2百万円（前年同期比4,067.3%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,786百万円となり、前連結会計年度末に比べ703百万円増加いたしました。これは主として、現金及び預金の増加761百万円、売掛金の減少30百万円、その他の減少27百万円等によるものです。固定資産は3,085百万円となり、前連結会計年度末に比べ38百万円増加いたしました。これは主として、建物及び構築物の減少23百万円、のれんの減少32百万円、敷金及び保証金の増加11百万円、繰延税金資産の増加83百万円等によるものです。

この結果、総資産は5,871百万円となり、前連結会計年度末に比べ741百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,609百万円となり、前連結会計年度末に比べ160百万円増加いたしました。これは主として、買掛金の増加45百万円、短期借入金の減少43百万円、未払金の増加37百万円、未払法人税等の増加125百万円、株主優待引当金の減少18百万円等によるものです。固定負債は1,888百万円となり、前連結会計年度末に比べ420百万円増加いたしました。これは主として、長期借入金の増加396百万円、資産除去債務の増加26百万円等によるものです。

この結果、負債合計は4,497百万円となり、前連結会計年度末に比べ581百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,373百万円となり、前連結会計年度末に比べ160百万円増加いたしました。これは主として、四半期純利益の計上139百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は23.1%（前連結会計年度末は23.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年4月14日付「平成28年2月期 決算短信」にて公表のとおりであります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(資産除去債務の見積りの変更)

事業用店舗の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務等として計上していた資産除去債務について、退店等による新たな情報の入手に伴いより精緻な見積りが可能となりました。その結果、既見積額を超過する見込みであることが明らかとなったため、見積りの変更による増加額46,006千円を変更前の資産除去債務残高に加算しております。

なお、この変更が当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	736,474	1,497,879
売掛金	779,064	749,014
原材料及び貯蔵品	234,665	233,979
繰延税金資産	133,623	133,964
その他	199,626	171,920
貸倒引当金	△506	△519
流動資産合計	2,082,948	2,786,238
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,847,366	1,823,556
工具、器具及び備品(純額)	232,636	234,448
リース資産(純額)	55,519	64,974
建設仮勘定	15,287	2,432
その他(純額)	1,737	7,769
有形固定資産合計	2,152,546	2,133,182
無形固定資産		
のれん	182,016	149,896
その他	47,093	43,156
無形固定資産合計	229,110	193,052
投資その他の資産		
投資有価証券	273	366
長期貸付金	8,232	7,899
敷金及び保証金	607,249	618,330
繰延税金資産	51,333	134,497
その他	14,719	14,343
貸倒引当金	△16,795	△16,461
投資その他の資産合計	665,012	758,977
固定資産合計	3,046,669	3,085,212
資産合計	5,129,617	5,871,451
負債の部		
流動負債		
買掛金	722,215	767,832
短期借入金	682,506	639,419
未払金	656,503	694,308
未払法人税等	38,766	163,957
ポイント引当金	23,906	28,003
株主優待引当金	55,728	37,085
その他	269,125	278,984
流動負債合計	2,448,751	2,609,591
固定負債		
長期借入金	798,332	1,194,965
資産除去債務	480,191	506,749

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
その他	189,262	186,336
固定負債合計	1,467,786	1,888,051
負債合計	3,916,538	4,497,642
純資産の部		
株主資本		
資本金	830,375	830,375
資本剰余金	898,683	898,683
利益剰余金	△359,858	△220,252
自己株式	△275	△362
株主資本合計	1,368,924	1,508,443
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4	58
為替換算調整勘定	△159,583	△151,946
その他の包括利益累計額合計	△159,587	△151,888
新株予約権	3,742	17,253
純資産合計	1,213,079	1,373,808
負債純資産合計	5,129,617	5,871,451

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)
売上高	11,009,179	11,244,356
売上原価	9,318,492	9,233,897
売上総利益	1,690,687	2,010,459
販売費及び一般管理費	1,658,574	1,757,195
営業利益	32,112	253,264
営業外収益		
受取利息	274	148
協賛金収入	41,737	57,140
為替差益	4,087	—
その他	14,840	19,727
営業外収益合計	60,940	77,016
営業外費用		
支払利息	24,193	20,051
為替差損	—	4,450
その他	3,520	5,435
営業外費用合計	27,714	29,937
経常利益	65,338	300,343
特別利益		
固定資産売却益	104	—
特別利益合計	104	—
特別損失		
固定資産除却損	746	—
減損損失	69,173	73,739
店舗閉鎖損失	18,499	—
特別損失合計	88,418	73,739
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△22,974	226,603
法人税、住民税及び事業税	32,370	170,710
法人税等調整額	42,098	△83,713
法人税等合計	74,468	86,997
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△97,443	139,606
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,965	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△93,478	139,606

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△97,443	139,606
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41	62
為替換算調整勘定	△3,180	7,636
その他の包括利益合計	△3,139	7,698
四半期包括利益	△100,582	147,304
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△96,265	147,304
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,317	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,557,754	7,445,834	11,003,588	5,591	11,009,179	—	11,009,179
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	216,517	216,517	△216,517	—
計	3,557,754	7,445,834	11,003,588	222,109	11,225,697	△216,517	11,009,179
セグメント利益	36,279	793,024	829,304	49	829,354	△797,241	32,112

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△797,241千円には、セグメント間取引消去額1,722千円、各セグメントに配分していない全社費用△798,963千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「XEXグループ」セグメントにおいて69,173千円の減損損失を計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,421,146	7,817,832	11,238,979	5,377	11,244,356	-	11,244,356
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	251,710	251,710	△251,710	-
計	3,421,146	7,817,832	11,238,979	257,088	11,496,067	△251,710	11,244,356
セグメント利益	233,855	819,483	1,053,339	2,069	1,055,408	△802,144	253,264

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△802,144千円には、セグメント間取引消去額1,250千円、各セグメントに配分していない全社費用△803,394千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「カジュアルレストラングループ」セグメントにおいて73,739千円の減損損失を計上しております。

(重要な後発事象)

当社は、平成28年12月21日開催の取締役会において、連結子会社である微風和伊授桌餐飲管理顧問股份有限公司を解散及び清算することを決議いたしました。

1. 解散及び清算の理由

微風和伊授桌餐飲管理顧問股份有限公司は、当社と台湾の商業デベロッパーである微風廣場實業股份有限公司の子会社と合併会社として設立され、台湾においてカジュアルイタリアンレストラン1店舗（SALVATORE CUOMO & BAR 微風廣場）を運営しておりました。しがしながら、当社グループの事業の選択と集中を行う中で、将来の収益性を勘案し、平成28年12月10日を最終営業日として当該店舗を閉店したことにより、その運営会社である微風和伊授桌餐飲管理顧問股份有限公司を解散及び清算することといたしました。

2. 当該子会社の概要

- (1) 名称 微風和伊授桌餐飲管理顧問股份有限公司
- (2) 所在地 台北市松山区南京東路三段 337 号 12F
- (3) 代表者 当社代表取締役 金山 精三郎
- (4) 事業内容 飲食店の企画・運営
- (5) 資本金 15,000,000台湾ドル
- (6) 設立年月日 平成25年11月25日
- (7) 持分比率 当社（70％） 微風國際股份有限公司（30％）

3. 解散及び清算の時期

清算の日程につきましては、平成29年1月より微風和伊授桌餐飲管理顧問股份有限公司の解散及び清算の手続きを開始し、現地の法律に従い必要な手続きが完了次第、清算完了となる予定です。

4. 当該子会社の状況

資産総額 22,289千円

負債総額 80,973千円

5. 解散及び清算による損益への影響

当該子会社の解散及び清算に伴う損益への影響は、現在算定中です。

6. 解散及び清算による営業活動等への影響

営業活動等に及ぼす重要な影響はありません。